

全国英語教育学会

第42回

埼玉研究大会

ご案内

下記の要領により、全国英語教育学会 第42回 埼玉研究大会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、大会案内、大会プログラム（7月中旬発表予定）、その他大会関連事項は、全国英語教育学会埼玉研究大会のウェブサイト上で随時発表いたします。

（埼玉研究大会ウェブサイト <http://jasele42-saitama.jpn.org/>）

- 期 日：2016（平成28）年 8月20日（土）・21日（日）
- 会 場：獨協大学 東棟, 35 周年記念館
〒340-0042 埼玉県草加市学園町 1-1（URL: <http://www.dokkyo.ac.jp/>）
- 担当地区学会：関東甲信越英語教育学会（会長 松沢伸二）
- 主 催：全国英語教育学会
（地区学会：北海道英語教育学会・東北英語教育学会・関東甲信越英語教育学会・中部地区英語教育学会・関西英語教育学会・中国地区英語教育学会・四国英語教育学会・九州英語教育学会）
- 後 援：草加市教育委員会・埼玉県教育委員会・埼玉県高等学校英語教育研究会・埼玉県英語教育研究会・神奈川県教育委員会・茨城県教育委員会・千葉県教育委員会・山梨県教育委員会・群馬県教育委員会・栃木県教育委員会・長野県教育委員会・新潟県教育委員会
- 大会役員：

全国英語教育学会会長	卯城 祐司（筑波大学）
関東甲信越英語教育学会会長	松沢 伸二（新潟大学）
大会実行委員長	羽山 恵（獨協大学）
大会実行副委員長	小林 美音（KATE 理事）
大会実行副委員長	杉田 由仁（明治学院大学）
大会事務局長	本田 勝久（千葉大学）
大会事務局次長	保坂 華子（東海大学）

全国英語教育学会

THE JAPAN SOCIETY OF ENGLISH LANGUAGE EDUCATION (JASELE)

Aug. 20-21, 2016

参 加 要 領

- 1 参 加 資 格 全国英語教育学会の会員、または、会員以外で英語教育に従事している方、および、英語教育に関心を持っている方
- 2 参 加 申 込 参加を希望されている方は、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。申し込みの際は、同封の「大会参加・お弁当・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご参照の上、埼玉研究大会ウェブサイトを通してお申し込みください。自由研究発表・事例報告・ポスター発表を申し込まれた方、および、各種フォーラム・ワークショップ・シンポジウムの提案者も大会参加の手続きが必要となります。
- 3 参加申込締切日 参加申し込み期日は、**2016（平成 28）年 7 月 11 日（月）**です。
- 4 参 加 費
 - ・事前申し込みの場合：大会予稿集も含めて、会員 3,500 円、非会員 4,500 円、学生 2,000 円
 - ・当日受付の場合：大会予稿集も含めて、会員も非会員も 5,000 円、学生は 3,000 円
 ※学生（学部学生、専任職を有しない大学院生）の場合、事前申し込みの場合は、お申し込みの際にフォームに学生証番号をご入力頂き、当日も受付にて学生証をご提示ください。大会当日に学生証の提示が無い場合は、学生割引の適用はできません。
 ※本学会は、小学校英語教育学会と提携しております。小学校英語教育学会会員の方の参加費は、本会員と同額（事前申込：3,500 円 当日受付：5,000 円）となります。
- 5 参加キャンセル ご参加やご宿泊のお申し込み後のご変更やお取り消しにつきましては、埼玉研究大会ウェブサイトページのフォームにて承ります。お申し込み後のご変更やお取り消しに関しましては、手数料がかかります。トラブル防止の観点からも、お電話によるご変更やお取り消しは一切お受け付けできませんので、ご了承ください。
- 6 派 遣 申 請 書 大会出席の派遣申請書が必要な方は、依頼先・住所・氏名を明記の上、所属長名を付記して、返信用封筒に宛先を記入し切手を貼付けの上、大会事務局までお申し込みください。

発 表 要 領

- 1 発表者の資格
 - 個人会員の発表資格
 - 1) 2016（平成 28）年 2 月末までに、全国英語教育学会に会員登録し、2015（平成 27）年度分会費を納入していることが必要です。
 - 2) 共同研究では、代表者が上記の条件を満たし、かつ、他の発表者全員が、発表申し込み期限日までに、全国英語教育学会に会員登録し、会費を納入していることが必要です。共同研究代表者は、共同研究者の会員登録と会費納入が発表申し込み締め切り日までに完了されていることを、責任を持ってご確認ください。
 - 3) 研究大会の実行委員会においても、発表申し込み終了時点で、研究発表・事例報告の発表申し込み者全員について、全国学会事務局の会員名簿によって、資格審査を行います。その結果、共同研究の場合も、共同研究発表者としての資格を有していないと判明した場合、「共同研究発表はできません」ので、ご注意ください。

2 自由研究発表・事例報告の申込

- 1) 全国英語教育学会埼玉研究大会ウェブサイト <http://jasele42-saitama.jpn.org/> の「発表要領&申し込み」のページから、発表申し込みを行ってください。書式に従って、発表題目、その他必要事項を記入し、**2016（平成28）年6月10日（金）**までに申し込みをしてください。要旨は大会プログラム作成のために用いられ、埼玉研究大会ウェブサイトで公開されます。なお、発表申し込み後は発表題目等の変更はできませんのでご注意ください。
- 2) 発表は、種別を問わず2件まで可能ですが、発表代表者には1回しかありません。ただし、フォーラム、シンポジウムなどは含みません。
- 3) 発表要旨の作成にあたって
 - ① 申し込み時に指定のフォームに書き込んでください。
 - ② 日本語（400字以内、タイトルや所属を含まない）、英文（250 words 程度）
 - ③ 写真や図は使用しないでください。
 - ④ 発表タイトルおよび要旨は、発表言語に合わせてください。
 - ⑤ 要旨はウェブ上で公開されます。
- 4) 発表カテゴリーは下記のようになっています。

A. 種類	自由研究発表	事例報告
B. 形態	口頭発表	ポスター発表

 いずれでもよい
- 5) **発表の日時の指定は受け付けません**ので、あらかじめご了承ください。

3 予稿集原稿作成要領

- 1) 当日配布するハンドアウトの代わりとして大会予稿集を作成します。発表内容を執筆要領に従って、A4用紙2枚（厳守）で作成してください。
- 2) 予稿集原稿提出締切日：**2016（平成28）年6月27日（月）**
- 3) 原稿の送付：埼玉研究大会ウェブサイトのフォームを使用してご送付ください。
- 4) 予稿集原稿作成に関するお問い合わせは、埼玉研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。
- 5) 予稿集の執筆は、埼玉研究大会ウェブページ「**予稿集原稿作成要領&提出**」のテンプレートに記載された要領に従ってください。

4 発表要領

- 1) 自由研究発表・事例報告は、発表・報告時間20分、質疑応答5分、計25分です。司会者はつきません。進行の補助を行うタイムキーパーがつかます。
- 2) ポスター発表は、あらかじめ指定された時間帯（前半はあるいは後半）で55分間ポスター前にて発表・質疑応答をお願いします。

懇親会・宿泊・弁当の申し込み

申し込み方法の詳細は、同封の「大会参加・お弁当・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご覧ください。

1 懇親会

獨協大学35周年記念館にて、会費5,000円で懇親会を開催いたします。
懇親会定員：300名 ＊定員になり次第、申し込み受付を終了させていただきます。

2 宿泊

大会事務局による取り扱いはございません。京王観光(株)さいたま支店にてホテル幹旋を行っておりますので、ご相談ください。

3 弁当

1日目および2日目の弁当（お茶付き）1,000円の事前申し込みを受け付けます。周辺には食事を取れる場所が少ないため、事前の申し込みをお勧めします。

大会日程

8月19日(金)

13:00 - 14:15 紀要編集委員会
14:30 - 17:30 理事会

8月20日(土)

企業展示 9:30-17:55

8:30 - 受付
9:00 - 9:20 開会行事
9:20 - 9:30 発表者・タイムキーパー係集合
9:30 - 10:55 自由研究発表・事例報告
11:00 - 12:30 特別講演
12:30 - 13:30 昼食
(12:45 - 13:15 関東甲信越英語教育学会 総会)
12:35 - 13:20 大学生・大学院生フォーラム
13:20 - 13:30 発表者・タイムキーパー係集合
13:20 - 15:15 ポスター発表
13:30 - 15:25 自由研究発表・事例報告・企業(賛助会員)プレゼンテーション
15:30 - 17:10 課題研究フォーラム・授業研究フォーラム
15:30 - 17:00 招待講演
17:15 - 17:55 総会
18:10 - 20:10 懇親会

8月21日(日)

企業展示 9:30-15:40

9:00 - 受付
9:20 - 9:30 発表者・タイムキーパー係集合
9:30 - 10:25 自由研究発表・事例報告
10:30 - 12:00 ワークショップ
11:00 - 13:55 ポスター発表
12:00 - 13:00 昼食
12:05 - 12:50 ランチョンセミナー
12:50 - 13:00 発表者・タイムキーパー係集合
13:00 - 13:55 自由研究発表・事例報告
14:00 - 15:40 シンポジウム
15:40 - 16:00 閉会行事

※ 発表件数など、諸々の事情により、時間帯に多少の変動が生じる場合がございます。詳細は、埼玉研究大会ウェブサイトをご参照ください。また、後日掲載する大会プログラムにてご確認ください。

大会プログラム

特別講演

講師 アレン玉井光江（青山学院大学文学部・文学研究科教授）
タイトル **グローバル社会で求められる英語のリタラシー –小中高連携の視点から–**
司会 松沢 伸二（関東甲信越英語教育学会会長・新潟大学）

講演概要

グローバル社会は、大学卒業後の社会人にうわべだけのコミュニケーション力ではなく、本当の意味で使える「21世紀型リタラシー」としての英語力を求めている。本講演では、日本の英語教育の対応として、小学校・中学校・高等学校でどのように英語教育を改革していくべきかを、米国のリタラシー教育の取り組みから得られる教育的な示唆に基づいて指摘する。No Child Left Behind が終焉し、米国では初めて州の枠を超えた教育基準「Common Core State Standards」が設定された（「各州共通基礎スタンダード」）。これは算数と英語の基準だが、高い設定になっており、なかでもリタラシー教育の重要性が叫ばれている。この基準を越えるために young adolescent learners の教育、特に academic language, writing, discussion が重要視され、思考の基礎となる言語教育と全ての教育の根幹にリタラシー教育があると捉えられている。

これまで研究者として教育現場で教え、教えられてきた講演者の経験を通して、教科化を迎える小学校英語のリタラシー・カリキュラム開発、小中高連携におけるアカデミック言語の発達などについてデータを持って紹介し、グローバル化社会を生きる日本の児童・生徒に求められる英語のリタラシーについて議論したい。なお本講演では、ハーバード大学教育大学院 Catherine E. Snow 教授と Nonie K. Lesaux 教授のリタラシー教育の取り組みを、各数分程度のビデオクリップにて紹介する。

特別講演講師 プロフィール

青山学院大学文学部・同文学研究科教授。教育学博士。ハーバード大学大学院教育研究科・教育学部言語専攻客員研究員（1991年、2015年）。主な研究テーマは、小学校英語教育（リタラシーカリキュラム開発）、第二言語教育（英語教育）における音声認識能力と読み書き能力の関連性、小中高連携におけるアカデミック言語の発達。

代表的な著書として、『新教職リニューアラー教師力を高めるためにー』（共著 ミネルヴァ書房）、*Story Trees*, *Story Trees 2*（小学館集英社プロダクション）、『小学校英語の教育法ー理論と実践』（大修館書店）、『ストーリーと活動を中心にした小学校英語』（小学館集英社プロダクション）、『リタラシーを育てる英語教育の創造』（共著 学文社）など多数。これまで、東京都品川区、武蔵野市、千葉県南房総市（GEL 運営指導委員）、孫子市、市原市、木更津市、長野市、八王子市、塩尻市、金沢市、福岡市など、全国で英語の指導に関わっておられる。

シンポジウム

テーマ：日本の英語教育の将来：効果的な授業の組み立て方について考える

コーディネーター兼司会 亘理 陽一（静岡大学）
シンポジスト 松村 昌紀（名城大学）・佐藤 臨太郎（奈良教育大学）

シンポジウム概要

英語教師にとって、これまで示されてきた外国語教育のアプローチやメソッドは、「どのように授業を組み立てるか」という問いの中で初めて意味を持つ。コミュニケーションを重視する潮流の中で、学習者の英語運用能力の涵養に対して Presentation-Practice-Production (PPP) と Task Based Language Teaching (TBLT) のどちらが「効果的」という議論も、具体的な授業の構成に妥当な限りにおいてその長所と課題を捉えなければ実りは乏しい。それ以前にわれわれは、両アプローチの考え方を本当に理解し、その上で自他の実践を語っていると言えるだろうか。本シンポジウムは、PPP と TBLT の基本的な考え方を改めて整理し、個々の言語活動のみならず、単元計画・年間指導計画のレベルも含めた授業づくりに対して、それぞれの立場から展望を示し、より良い授業実践の示唆を得ることを目的とする。そのためには、両者の言語観・教育観の異同や、(学習者の第二言語の)「習得/発達」をどうスパンで捉えるか、日本の学校英語教育の現状との整合性や適当な導入時期といった根本的問題に触れざるを得ない。本シンポジウムの議論を通じて「PPP と TBLT のどちらが…」という問いの立て方に終止符を打ち、英語教育における「効果」自体を問い直す機会としたい。

課題研究フォーラム：2年間継続研究の2年目

1. 小中をつなぐ文字指導（北海道英語教育学会）

コーディネーター	中村 典生（長崎大学）
提 案 者	明石 一郎（千葉市立轟町中学校）
	津田 裕匡（北海道教育大学附属釧路小学校）
	村尾 亮子（雲南市立吉田小学校）

2. Wowing to Act -- Rapport, Content, & Activities that Creatively Construct Student Agency（中国地区英語教育学会）

コーディネーター	高橋 俊章（山口大学）
提 案 者	ティム・マーフィー（神田外語大学）
	梅地 哲郎（山口県立華陵高等学校）

課題研究フォーラム：2年間継続研究の1年目

1. 「生徒の言語使用につながる英語授業」を考える（関西英語教育学会）

コーディネーター兼提案者	中田 賀之（同志社大学）
提 案 者	池野 修（愛媛大学）
	長沼 君主（東海大学）
	興津 紀子（神戸大学附属中等教育学校）

2. 英語教室をワークショップに－自立した英語学習者の育成を目指して－（四国英語教育学会）

コーディネーター	長崎 政浩（高知工科大学）
提 案 者	小坂 敦子（愛知大学）
	吉沢 郁生（甲南高等学校・中学校）
	花岡 民子（大学非常勤講師）
	宮城 妙子（大学非常勤講師）

授業研究フォーラム

1. 4技能育成の基礎としての効果的な語彙指導を考える（中部地区英語教育学会）

コーディネーター	白畑 知彦（静岡大学）
提 案 者	福田 恵（徳島県美馬市立江原中学校）
	加藤 京子（東洋大学姫路中学高等学校）
	小島 ますみ（岐阜市立女子短期大学）

2. 山形県小中高大連携プログラム（英語）の実践（東北英語教育学会）

コーディネーター	佐藤 博晴（山形大学）・青柳 敦子（山形大学）
提 案 者	高橋 典子（山形県教育庁義務教育課指導主事）
	佐藤 英司（山形県教育庁高校教育課指導主事）
	渡邊 智（鶴岡市教育委員会学校教育課指導主事）
	本間 紘（鶴岡市立朝陽第三小学校）

大学生・大学院生フォーラム

大学生・大学院生のための交流の場（全国英語教育学会 学生支援部）

研究大会に参加している大学生及び大学院生を対象として、参加者間の交流を深める場とする。

司 会 名畑目 真吾（共栄大学）

招待講演

講師 原田 康也 (日本英語教育学会前会長・早稲田大学法学学術院・教授)
タイトル **英語教育における研究と教育の統合 –科学的英語学習法を目指して–**
司会 卯城 祐司 (全国英語教育学会会長・筑波大学)

講演概要

e-learning により、オンラインの学習と測定を一体の活動として統合することが可能となっている。多くの言語試験において、一つの技能のみに依存する課題ではなく、聞いて書く、読んで話す、などの統合的課題が増えている。大学英語教科書を見ても、一つのスキルに特化した教材から統合的学習教材への変化を見ることができる。研究者であることも求められる大学の英語教員については、英語教育における研究活動と教育実践の統合が可能となり、求められる状況となっている。本講演では、大学生英語学習者の対話的活動、特に質問への応答と質問の産出を中心に、研究と教育の統合についての私見を述べる。

ワークショップ

1. 質的研究入門

講師 高木 亜希子 (青山学院大学)

2. 中学校入門期の英語指導

講師 田口 徹 (千代田区立九段中等教育学校)

関東甲信越特別企画ワークショップ

1. I Love Stories, Therefore I Love English

講師 Isabel Chang (ELT Expert & Teacher Trainer at Taipei City)
A full time English teacher at Ren Ai Elementary school, and also an advisor from Taipei City Advisory Group for English teachers.
司会 折原 俊一 (千葉大学教育学部附属小学校)

2. ConCLIL (CLIL と共に) –教員養成への活用・海外と日本の学校での実践–

講師 柏木 賀津子 (大阪教育大学)
司会 安達 理恵 (愛知大学)

3. 量的研究の最前線 –ベイズ統計とデータマイニング–

講師 草薙 邦広 (広島大学)
石井 雄隆 (早稲田大学)
司会 山本 長紀 (木更津工業高等専門学校)

ランチョンセミナー

1. 思考力・判断力・表現力を育むライティング指導

講師 大井 恭子 (清泉女子大学)

2. IRT に基づくテスト開発・運用

講師 斉田 智里 (横浜国立大学)

3. ビデオによる授業研究会 –フォーカス・オン・フォームを取り入れたスピーキングの授業–

講師 三枝 幸一 (山梨県都留市立都留第一中学校)
杉田 由仁 (明治学院大学)

託児コーナーのご案内

会場内に託児コーナーを設置いたします。経験豊富な保育士が、2名以上でお子様をお預かりします。ご利用をご希望の方は、全国英語教育学会埼玉研究大会ウェブサイト <http://jasele42-saitama.jp/> / 「参加申込フォーム」からお申し込みください。場所は研究大会会場（東棟）に隣接しています、中央棟の2階和室（10 畳二間）です。

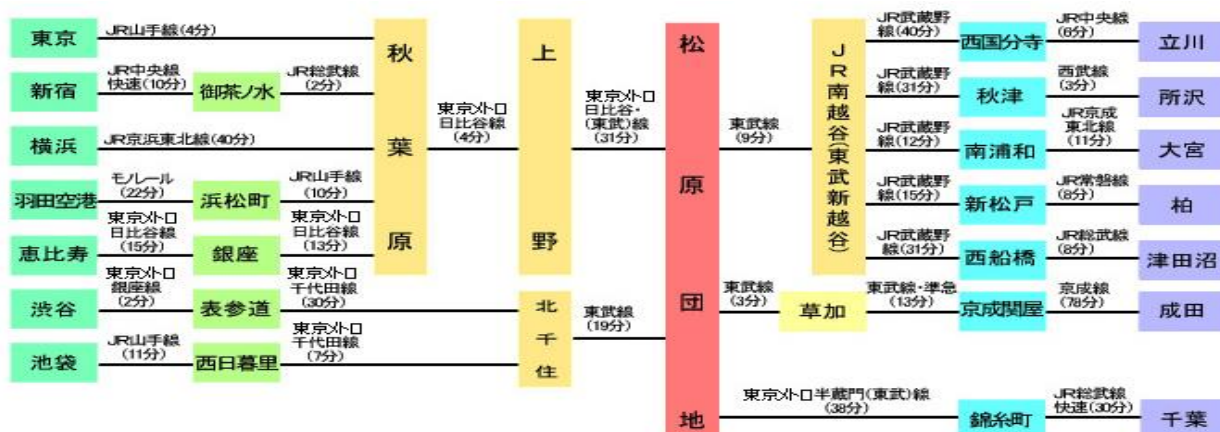
獨協大学へのアクセス

■ アクセス

獨協大学 〒340-0042 埼玉県草加市学園町 1 番 1 号

獨協大学アクセスマップ http://www.dokkyo.ac.jp/daigaku/a02_02_j.html

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通東武スカイツリーライン 「松原団地駅」西口下車徒歩 5 分



■ 松原団地駅から獨協大学まで



連 絡 先

1 発表申し込み先

埼玉研究大会ウェブサイト <http://jasele42-saitama.jp/> の「発表要領&申し込み」から。

2 大会参加・お弁当・懇親会・宿泊・託児コーナー申し込み先

埼玉研究大会ウェブサイト <http://jasele42-saitama.jp/> の「参加要領&申し込み」から。

大会問い合わせ先：大会事務局

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

3

千葉大学教育学部 本田 勝久 研究室内

Email: kate2014office@gmail.com